

山形県 自家用自動車

定価1部・20円
会員の購読料は会費に含まれております
発行所
山形市大字漆山字行段1422
一般社団法人
山形県自家用自動車協会
電話023 (686) 3951
https://www.y-jikayo.or.jp
印刷/柳樹林印刷所

10月から2月まで展開中

大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン

国土交通省

国土交通省は、平成30年度より、大型車の車輪脱落事故防止のための緊急対策を策定し積極的に取り組んでいますが、令和3年度の事故発生件数は1233件(前年度比8件減)と依然として多くの車輪脱落事故が発生していることを踏まえ、大型車の車輪脱落事故防止「令和4年度緊急対策」を取りまとめ、脱落事故防止に向けた取組を推進しています。

実施期間として全国的に展開し、大型車の車輪脱落事故防止対策の徹底を図る取組を強化していくとしています。

①作業日程及び作業時間に余裕を持った、計画的なタイヤ脱着作業を実施すること。

②大型車のタイヤの脱着作業は、正しい知識を有した者に実施させること。特に、ホイール・ボルト・ナットの脱着作業は、適切な知識を有した者に実施させること。

③著しく錆びたホイール・ボルトやホイール・ナット、ディスク・ホイールでは適正な締付力が得られないため、タイヤ脱着作業時に点検・清掃や潤滑剤の塗布を行っても、錆びが著しいディスク・ホイールや、ひたひた等々の異状がありスムーズに回らないホイール・ボルト及びホイール・ナットは、使用せず交換すること。

④増し締めをやむを得ず車載工具で行う場合の実施方法を確認しておくこと。なお、車載工具で行った際の締め付けトルクの確認は、必ず帰庫時にトルクレンチを使用して規定のトルクで行うこと。

⑤タイヤ脱着作業時の作業確認及びタイヤ脱着作業後の日常点検を、車輪脱落事故防止のための「お・ち・ない」のポイントを心がけ実施すること。

◆国土交通省は、適切なタイヤ脱着作業や保守管理手順をいつでも確認できるように、解説動画を作成し公開しています。

冬季は積雪や路面凍結、悪天候時の視界不良等により道路環境が著しく悪化し、交通事故が多発する時期となるほか、飲酒の機会が多くなり、飲酒運転による交通事故の発生が懸念されます。本運動は、県民一人ひとりに冬の安全運転と飲酒運転の危険性について周知し、交通事故防止の徹底を図ることを目的に実施されます。

今年度の運動の重点は次の3点です。
1 悪質危険な飲酒運転

秋の交通安全運動 期間中の死者は全国で83人

警察庁

警察庁は、令和4年度秋の全国交通安全運動期間中(9月21日から9月30日)の交通事故発生状況を公表しました。

死者数は83人で前年の運動期間中より20人(31.7%)増加しました。このうち、65歳以上の高齢者は50人で、全体に占める割合は60.2%となっています。

状態別では、自動車乗車中が32人(全体の38.6%)、歩行中が26人(同31.3%)、自転車乗車中が12人(同14.5%)、二輪車乗車中が12人(同14.5%)などとなっています。歩行中死者26人のうち18人が高齢者でした。また、飲酒運転による交通事故は、件数が41件(前年同期比7件増)、死者数が1人(同1人減)となっています。

県内の運動期間中の死者は1人で昨年と同数となりましたが、発生件数は80件(前年同期比10件減少)、負傷者数は93人(同15人減少)といずれも減少となりました。

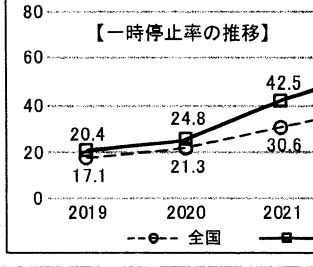
信号機のない横断歩道での一時停止率 山形県55.2%・全国10位

JAF

一般社団法人日本自動車連盟(JAF)は、本年8月、信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止状況調査を実施し、その結果を公表しました。

調査は、各都道府県2箇所ずつ、全国合計94箇所、信号機が設置されていない横断歩道を通過する車両7,540台を対象に実施され、歩行者が渡ろうとしている場面で一時停止した車は3,000台で、停止率は39.8%

【停止率上位10県】		
順位	県別	停止率
1	長野	82.9%
2	兵庫	64.7%
3	山梨	64.6%
4	静岡	60.8%
5	熊本	57.3%
6	岐阜	57.0%
7	青森	56.7%
8	島根	55.9%
9	福島	55.3%
10	山形	55.2%
10	愛知	55.2%
全国平均		39.8%



12月11日から12月20日まで 飲酒運転撲滅・冬の交通安全県民運動

山形県

冬季は積雪や路面凍結、悪天候時の視界不良等により道路環境が著しく悪化し、交通事故が多発する時期となるほか、飲酒の機会が多くなり、飲酒運転による交通事故の発生が懸念されます。

本運動は、県民一人ひとりに冬の安全運転と飲酒運転の危険性について周知し、交通事故防止の徹底を図ることを目的に実施されます。

今年度の運動の重点は次の3点です。
1 悪質危険な飲酒運転

今年度の運動の重点は次の3点です。
1 悪質危険な飲酒運転

今年度の運動の重点は次の3点です。
1 悪質危険な飲酒運転

大型車のホイール・ナットの街頭点検を実施

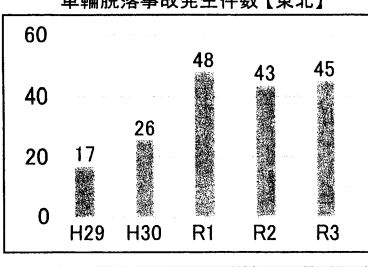
山形運輸支局

令和3年度の東北地方における大型車の車輪脱落事故は、45件(うち山形県では9件)発生し前年度より2件増加したことなどを踏まえ、山形運輸支局は県内自動車関係団体と連携し、10月から始めた「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」の一環として、10月12日、山形県警察の協力のもと、大型車の運転者への指導・啓発を目的とした大型車のホイール・ナットの取り付け状況等を確認する街頭点検を実施しました。

午後1時30分から約1時間、国道48号上り駐車帯(東根市関山入間向)で、大型車を対象に専門のスタッフがトルクレンチを用いて各タイヤのホイール・ボルトの取り付け状況を確認したもので、延べ12台の車両を点検した結果、緩み等のある車両はなく、適正な取り付け状況を確認したとしています。

また、各ドライバーに脱落事故の発生状況や注意事項をまとめたチラシを配り、脱落事故の防止を呼びかけました。

車輪脱落事故発生件数【東北】



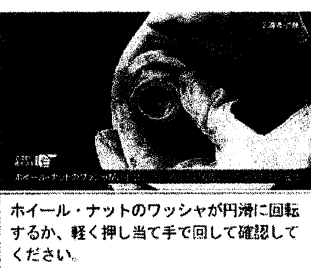
「お・ち・ない」の徹底で防ごう、大型車の車輪脱落事故

タイヤ交換時の「ち」エック
錆・汚れの除去や塗油忘れが、車輪脱落を引き起こしています。

事業者、ドライバー、整備工場の皆さんの協力をお願いします。

正しい点検方法や適切なナット締め付け方法インジケータの使用法を動画でチェック!

お・ち・ない
とさない! 脱落防止はまず点検。
ちゃんと点検、ちゃんと締め!
ツツめめ、トルクレンチを必ず使用!
常に「ち」エック、緩みの点検!



ホイール・ナットのワッシャが円滑に回転するか、軽く押し当てて手で回して確認してください。

冬の安全運転5則
①スピードは、夏場より10キロ以上減速する。
②車間距離は、路面乾燥時の2倍以上とする。
③急加速、急ブレーキ、急ハンドル等の急激な操作を避ける。
④視界不良時は前方をよく見て早めに徐行する。
⑤危険がいっぱい。追越しはしない。

令和3年度の東北地方における大型車の車輪脱落事故は、45件(うち山形県では9件)発生し前年度より2件増加したことなどを踏まえ、山形運輸支局は県内自動車関係団体と連携し、10月から始めた「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」の一環として、10月12日、山形県警察の協力のもと、大型車の運転者への指導・啓発を目的とした大型車のホイール・ナットの取り付け状況等を確認する街頭点検を実施しました。

午後1時30分から約1時間、国道48号上り駐車帯(東根市関山入間向)で、大型車を対象に専門のスタッフがトルクレンチを用いて各タイヤのホイール・ボルトの取り付け状況を確認したもので、延べ12台の車両を点検した結果、緩み等のある車両はなく、適正な取り付け状況を確認したとしています。

また、各ドライバーに脱落事故の発生状況や注意事項をまとめたチラシを配り、脱落事故の防止を呼びかけました。

「マイカー点検フェスティバル2022」を開催

県自動車適正管理推進協議会

山形県自動車適正管理推進協議会は、10月15日（土）と16日（日）の2日間、山形市の国際交流プラザ（山形ビッグウイング）において、「マイカー点検フェスティバル2022」を開催しました。

このフェスティバルは、東北運輸局山形運輸支局の後援、独立行政法人自動車技術総合機構山形事務所、軽自動車検査協会山形事務所の協力のもと協議会加盟の自動車関係14団体が主催し、マイカーの点検整備の必要性等を啓発するとともに、自

動車使用者における保守管理意識の高揚及び環境問題への関心を高めることを目的として、山形県主催の「やまがた環境展2022」と同時開催したものです。

新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となりましたが、マイカーの無料点検や相談、子供免許証の発行、エコカーのペーパークラフト作成体験などのブースを設置して行われたほか、大阪・関西万博や全国版の特別仕様ナンバープレート167枚の展示なども行われました。

今回のフェスティバルでは、無料点検は延べ11台の車を点検、子供免許証は延べ167枚を発行、ペーパークラフトは延べ20

件もの作成となりました。



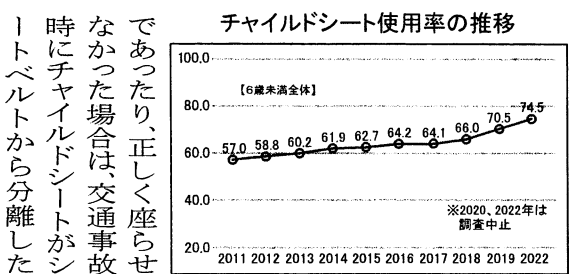
チャイルドシート使用率 山形県80.8%・全国74.5%

JAF・警察庁

一般社団法人日本自動車連盟（JAF）と警察庁は合同で、自動車乗車中の6歳未満の子どもの対象にチャイルドシートの使用状況等の調査を全国で実施し、その結果を公表しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの調査となりましたが、本年4月から6月にかけて、全国99箇所、乳幼児延べ13,110人を対象に実施した結果、6歳未満の子どもの使用率は74.5%で前回（2019年）に比べ4.0%、次いで大阪府の57.4

0%、佐賀県の60.4%となっています。



山形県内では2箇所での調査が行われ、6歳未満全体的使用率は80.8%と全国平均を上回る結果となりました。また、未使用の内訳は、車両シートにそのまま着座が9.4%、チャイルドシートにそのまま着座が4.9%、大人用シートベルト着用が3.4%、保護者の抱っこが1.5%でした。

使用状況調査のほか、「取付け状況調査及び着座調査」も行われています。警察庁は、チャイルドシートを使用している車両への取付け固定が不十分

11月はエコドライブ推進月間 地球と財布にやさしいエコドライブを！

エコドライブ普及連絡会

警察庁、経済産業省、国土交通省及び環境省で構成するエコドライブ普及連絡会は、行楽シーズンであり自動車に乗る機会が多くなる11月を「エコドライブ推進月間」として、シンポジウムや全国各地でのイベントなどを通してエコドライブの普及推進を図っています。

エコドライブは、燃料消費量やCO2排出量を減らし、地球温暖化防止につながる「運転技術」や「心がけ」です。また、ゆっ

～エコドライブ10のすすめ～

1. 自分の燃費を把握しよう
2. ふんわりアクセル「eスタート」
3. 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
4. 減速時は早めにアクセルを離そう
5. エアコンの使用は適切に
6. ムダなアイドリングはやめよう
7. 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
8. タイヤの空気圧から始める点検・整備
9. 不要な荷物はおろそう
10. 走行の妨げとなる駐車はやめよう

☆9月総合計26.3%増（15ヶ月ぶり増加）

東北運輸局

山形県の9月における新車新規登録・届出台数は、総合計4,198台で前年同月比26.3%増と、令和3年6月以来、15ヶ月ぶりの増加となりました。

○軽自動車は41.8%増で4ヶ月連続して増加し、小

型二輪車は72.4%の増と2ヶ月ぶりの増加となりました。

別表 9月新車新規登録・届出台数

		4年9月	前年同月	増減	率
登録自動車	乗用	1,062	851	211	24.8
	普通	899	666	233	35.0
	小型	1,961	1,517	444	29.3
	計	238	327	▲89	▲27.2
	その他	76	131	▲55	▲42.0
計		2,275	1,975	300	15.2
軽自動車		1,873	1,321	552	41.8
小型二輪車		50	29	21	72.4
総合計		4,198	3,325	873	26.3

注1) 乗用車・普通は3ナンバー、乗用・小型は5ナンバー、貨物車は1又は4ナンバー、その他はバス、特種用途車等である。
2) 軽自動車については、軽自動車検査協会調べの速報値

まずはお見積りを！ ～東北自動車共済のお見積り例～

年齢35歳以上補償（74歳以下）、
20等級（事故有期間0年）の場合

（ホンダ N-BOX／型式：JF4）

初年度登録 令和4年9月／新車割引有

車両補償セット（一括払い）なら	
44,540 円	※1事故最大200万円まで補償 一般車両タイプ・免責金額0万円
車両補償を外すと	
一括払いで 17,030 円	分割10回払いで月々 1,790 円

お見積りもは令和4年10月現在の条件で計算しております。
（補償内容）①対人賠償：無制限②対物賠償：無制限（対物超過修理費用特約付）③人身傷害：1名3,000万円④ロードアシスタンス付帯

自動車共済 お見積り キャンペーン

期間：令和4年10月1日（土）～令和5年3月31日（金）

キャンペーン期間中、自動車共済のお見積りをさせていただいたお客様にもれなく、便利な「東北自動車共済オリジナル・エコバック（ポーチ付）」をプレゼントいたします。（新規ご契約に限ります。）
お見積りは、山形県自家用自動車協会（〒990-2161 山形市大字漆山字行段1422 TEL023-686-3951）又は協会各支部へお問い合わせください。
(TJK(業)01 2022.9)-02